

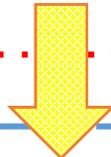
# 令和2年度 広瀬小学校 校内研究

## 1 新学習指導要領で求められる教育の在り方

### 将来、児童が生きる社会

#### ○厳しい挑戦の時代

- ★生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等による、社会構造や雇用環境の大きな急速な変化による予測困難な時代
- ★急激な少子高齢化が進む中での成熟社会  
⇒一人一人が持続可能な社会の担い手
- ★人口知能（AI）の飛躍的な進化（自ら知識を概念的に理解し、思考する）  
⇒雇用の在り方の変化



### 目指す児童の未来像

#### ○「生きる力」を身に付けた人間

##### 「生きる力」を支える資質・能力

- ★ア「何を理解しているか、何ができるか」  
→生きて働く「知識・技能」の習得
- ★イ「理解していること・できることをどう使うか」  
→未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」の育成
- ★ウ「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」  
→学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」の涵養

#### ○生涯にわたって能動的に学び続ける人間

#### ○豊かな心と健やかな体

×こんな時代を生き抜くために  
○この様な時代において、よりよい社会の担い手として、未来社会を切り拓く力を持ち、幸福な人生の創り手となるために



目指す児童の未来像を実現させるために



### これからの学校教育

- これまでの学校教育の蓄積を生かした教育（×今までと全く違う指導方法）
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進  
⇒アクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善
  - ★主体的な学び
  - ★対話的な学び
  - ★深い学び（「見方・考え方を働かせること」⇒各教科ならではの物事を捉える視点や考え方
- 通常の学習活動（言語活動、観察・実験、問題解決的な学習等）の質の向上
- 基礎的・基本的な知識及び技能の習得

## 2 研究主題と研究主題設定の理由

### (1) 研究主題

運動の喜びや楽しさを味わい、主体的・対話的で深い学びを実現する児童の育成

### (2) 研究主題の捉え

「運動の楽しさや喜びを味わい」

○知識及び技能の習得

- ・体育科で学ぶ各種知識及び技能を習得する充実感や、達成感を味わう喜び。
- ・習得した知識・技能を生かして運動したり、生活に生かして遊んだりできる楽しみ。

○運動が苦手な児童が、自分のペースや特性に合わせて運動できる楽しさや喜び。

○運動の得意な児童が、発展的な知識・技能に挑戦する楽しさや喜び。

○運動を通して、友達と協働的に課題を解決したり、目的を達成したりする楽しさや喜び。

「主体的・対話的で深い学びを実現する児童の育成」

○主体的

- ・自身の課題を設定し、課題解決のために思考し、実践することにより知識・技能の習得を図っていく姿勢や態度、学び方。

○対話的

- ・友達と話し合い、考えを広めたり深めたりして課題解決へつなげること。

○深い学び

- ・主体的、対話的な学習を基にした実践と考察のサイクルによって起こる学びの深まり。

### (3) 研究主題設定の理由

#### ①学習指導要領から

○前指導要領による成果

- ・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合の高まり。
- ・体力の低下傾向に歯止めが掛かったこと。
- ・『する、みる、支える』のスポーツとの多様な関わりの必要性や公正、責任、健康・安全等、態度の内容が身に付いていること、子供たちの健康の大切さへの認識や健康・安全に関する基礎的な内容が身に付いていること。

○前指導要領による課題

- ・習得した知識及び技能を活用して課題解決すること。
- ・学習したことを相手に分かりやすく伝えること。
- ・運動する子供とそうでない子供の二極化傾向が見られること。
- ・子供の体力について、低下傾向に歯止めが掛かっているものの、体力水準が高かった昭和60年頃と比較すると、以前として低い状況が見られること。
- ・健康課題を発見し、主体的に課題解決に取り組む学習が不十分であり、社会の変化に伴う新たな健康課題に対応した教育が必要であること。

②児童の実態から

【体力・運動能力の実態】

1 貴校の平成30年度の体力・運動能力調査の平均値をセルに入力してください。

男子		筋力	筋力 筋持久力	柔軟性	敏捷性	全身持久力	スピード 走能力	瞬発力 跳躍力	瞬発力 投能力 巧緻性	女子											
学年		握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ソフトボール 投げ (m)												
1		貴校	9.14	10.69	23.73	26.12	12.88	11.87	94.16	7.78	1		貴校	8.37	9.27	25.68	23.76	9.11	12.54	81.87	5.36
差			-0.30	-0.77	-2.57	-0.78	-5.55	-0.09	-15.71	-0.62	差			-0.57	-1.49	-2.59	-2.10	-6.29	-0.42	-20.38	-0.11
2		貴校	10.80	13.50	25.68	28.50	18.86	10.95	115.61	11.73	2		貴校	10.00	12.41	29.64	26.82	14.14	11.09	107.18	7.84
差			-0.27	-0.85	-2.16	-2.65	-9.01	-0.10	-5.73	-0.30	差			-0.48	-1.02	-0.94	-3.11	-7.53	0.08	-5.45	0.51
3		貴校	12.33	16.89	32.23	32.42	29.91	10.47	123.47	14.26	3		貴校	11.91	14.96	36.39	29.41	19.33	10.66	113.20	8.61
差			-0.43	0.74	2.81	-2.20	-5.41	-0.20	-7.49	-1.54	差			-0.12	-0.39	3.69	-3.60	-7.32	-0.05	-9.58	-0.78
4		貴校	15.51	19.15	28.94	37.13	42.04	9.7	130.44	22.89	4		貴校	14.09	15.00	33.33	32.20	25.15	10.30	119.87	10.59
差			0.94	0.96	-2.42	-1.94	-1.40	0.12	-9.44	3.25	差			0.22	-2.20	-1.81	-5.25	-8.25	-0.19	-12.79	-0.84
5		貴校	17.41	20.49	35.88	41.46	42.77	9.54	152.16	23.82	5		貴校	16.52	20.93	39.76	40.07	34.22	9.58	151.49	15.07
差			0.75	0.51	1.63	-1.28	-7.95	-0.06	3.04	0.54	差			0.12	1.84	1.12	-1.04	-6.56	0.09	7.30	1.20
6		貴校	19.25	20.23	35.53	42.58	55.54	9.31	152.19	25.40	6		貴校	20.04	18.10	38.59	41.18	38.82	9.65	143.27	15.84
差			-0.21	-1.63	-0.46	-3.49	-3.53	-0.26	-10.01	-1.77	差			0.87	-1.80	-2.09	-2.20	-6.19	-0.29	-8.89	0.09
						48項目中、仙台市平均値を上回った項目数				11							48項目中、仙台市平均値を上回った項目数				12

2 右側のセルに、令和元年度の仙台市の平均値をコピーして貼り付けてください。貴校の令和元年度の体力・運動能力調査の平均値をセルに入力してください。

男子		筋力	筋力 筋持久力	柔軟性	敏捷性	全身持久力	スピード 走能力	瞬発力 跳躍力	瞬発力 投能力 巧緻性	女子											
学年		握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ソフトボール 投げ (m)												
1		貴校	9.77	9.86	27.13	24.54	13.41	11.84	108.93	7.75	1		貴校	9.84	10.02	31.35	23.92	11.86	12.19	101.24	5.37
差			0.38	-1.41	0.93	-2.02	-4.49	-0.09	-1.47	-0.56	差			0.95	-0.81	3.12	-1.73	-3.33	-0.10	-1.41	-0.16
2		貴校	10.69	14.60	26.65	29.58	19.58	10.87	111.90	10.73	2		貴校	9.64	11.16	28.29	26.47	12.52	11.69	100.62	6.49
差			-0.22	0.61	-0.80	-0.90	-7.77	-0.03	-8.15	-0.89	差			-0.81	-2.26	-1.83	-2.85	-9.21	-0.49	-11.76	-0.76
3		貴校	11.80	15.43	26.26	29.46	25.87	10.62	129.61	14.17	3		貴校	11.20	14.60	31.50	29.00	16.74	11.05	121.08	8.28
差			-0.97	-0.67	-3.31	-5.00	-8.68	-0.36	-1.48	-1.35	差			-0.90	-0.72	-1.43	-4.12	-9.65	-0.47	-2.57	-0.95
4		貴校	13.03	17.71	30.46	35.83	35.59	9.81	128.83	17.62	4		貴校	13.28	17.30	36.67	31.04	25.26	10.22	124.52	10.30
差			-1.48	-0.45	-0.61	-3.03	-6.28	0.01	-11.09	-1.54	差			-0.65	-0.18	1.82	-6.22	-6.72	-0.12	-8.64	-1.02
5		貴校	17.40	19.07	33.38	42.42	46.31	9.18	148.67	23.80	5		貴校	16.47	17.87	36.69	38.84	34.87	9.63	134.09	12.31
差			0.88	-0.85	-0.39	-0.21	-3.11	0.30	0.08	1.00	差			0.19	-0.99	-1.26	-2.09	-4.64	0.06	-9.07	-1.28
6		貴校	19.88	21.33	38.64	41.18	50.18	9.20	146.34	24.86	6		貴校	19.70	26.09	40.81	41.33	40.63	9.41	144.72	14.74
差			0.56	-0.32	2.45	-4.69	-6.76	-0.12	-13.38	-1.59	差			0.54	5.90	-0.15	-2.31	-4.10	-0.09	-7.35	-0.69
						48項目中、仙台市平均値を上回った項目数				10							48項目中、仙台市平均値を上回った項目数				7

【結果】

令和元年度は男子が48項目中38項目において市平均を下回り、女子が41項目下回っており、平成30年度の結果よりも更に悪くなっている。改善すべき領域が多岐に渡る上、各学年に課題が及んでいる。

③本校のこれまでの研究の経緯から

成果：生活・総合を中心とした研究の蓄積

アクティブ・ラーニングの基本の定着

○課題設定（めあて）



- ★課題意識
- ★話し合い（対話）

○情報収集



- ★インタビュー
- ★実地調査
- ★本★インターネット

○整理・分析



- ★思考スキルに合わせた思考（思考ツール）
- ★話し合い（対話）
- ★ゲストティーチャーの助言

○まとめ・表現



教科横断的な教育課程の編成

情報活用能力の系統的な育成



生活・総合の研究の蓄積

防災教育の推進

自分づくり教育の系統的な推進

④考察

新学習指導要領改訂に至った体育科の課題解決に向けて、これまで本校の研究で培ってきた教科横断的な学習や、対話や課題解決学習を中心とした主体的・協働的な学びが生かされると考えられる。また、知識及び技能を習得することが、本校の児童が現在課題としている体力・運動能力向上へ向かう基礎となると考えられる。

以上の理由から、児童が運動の喜びや楽しさを味わいながら知識及び技能を習得し、主体的・対話的で深い学びを実現する児童の育成を目指すことを主題に設定する。



(2) 系統性のある体づくり運動計画

R2体力向上プラン (案)

1 ねらい体力・運動能力調査結果と体育科年間指導計画の内容を生かした指導を通して、体力・運動能力育成を図る。  
 (1) 授業の導入 (毎時間・導入)の基本的運動。これを基にして指導する。改良可能。) 赤字は準教科書掲載。  
 ①第1期 (体力・運動能力テストに基づきやすい運動)

準備運動		体ほぐし	体づくり
1年	○グーパー運動 (握力) ○ペアで手をつないで開脚柔軟 (長座体前屈) ○ペアでゆりかごじゃんけん (上体起こし)	○じゃんけんれっしゃ ○なかまづくり ○リーダーにつづけ (ペアでのまねっこ走) ○二人おにごっこ ○リーダーにつづけ (ペアでのまねっこ走)	○シャトルランリレー (シャトルラン) ○サイドステップおにごっこ (反復横跳び) ○立ち幅跳びじゃんけん・立ち幅おにごっこ (立ち幅跳び) ○ボール投げゲーム (玉入れの球) ○雲ていじゃんけん・肋木 (握力) ○20mシャトルランリレー (シャトルラン) ○サイドステップおにごっこ (反復横跳び) ○立ち幅跳びじゃんけん・立ち幅おにごっこ, <b>ぴよんぴよん競走 (P19)</b> (立ち幅跳び) ○ボール投げゲーム (玉入れの球) (P28)
2年	○グーパー運動 (握力) ○ペアでストレッチ (肩入れ/背中合わせ/開脚柔軟 (長座体前屈)) ○ペアでゆりかごじゃんけん (上体起こし)	○へんかじゃんけん (P2) ○リーダーにつづけて(グループでのまねっこ走 P2, P40)	○登り棒・肋木 (勝ったら上がるじゃんけん・ぶら下がりがり・手だけで移動) (握力) (P42, 43) ○かけ足名人 (P42) ○じゃんけんダンス (シャトルラン) ○コーンタッチ (反復横跳び) ○両足けんば (P32), ジャンプおに (立ち幅跳び) ○ボール投げ (玉入れの球)
3年	○足上げ腹筋 (上体起こし) ○ペアでストレッチ (肩入れ/体側伸ばし/背中合わせ/股関節/開脚柔軟 (長座体前屈)) ○ペアで力試し	○体じゃんけん→おんぶ じゃんけん (P2) ○グループサーキット (P40)	○雲底・登り棒・肋木 (ぶら下がりがり・じゃんけん・足じゃんけん) (握力) ○ボール投げ (玉入れの球P33) ○いろいろな姿勢からのスタートダッシュ, ペアシャトルラン (シャトルラン) ○コーンタッチ (反復横跳び)
4年	○正座からジャンプ (前・後ろ両足で立つ) (立ち幅跳び) ○上体起こし ○ペアでストレッチ (肩入れ/体側伸ばし/背中合わせ/股関節/開脚柔軟 (長座体前屈))	○手つなぎおに (P4)	○スタートダッシュ (変形ダッシュ), 10mショートダッシュ (いろいろな走り方で) ○ペアシャトルラン (シャトルラン) ○インベーダー突破ゲーム (反復横跳び) ○垂直跳び (立ち幅跳び) ○ホース投げ, ボール投げ (ソフトボール投げ)
5年	○正座からジャンプ (前・後ろ片足で立つ) (立ち幅跳び) ○上体起こし ○ストレッチP5, 60 (長座体前屈) ○5分間走 (P60), コース走 (P61) (シャトルラン)	○すりぬけ (P4)	○スタートダッシュ (変形ダッシュ), 10mショートダッシュ (いろいろな走り方で) ○ペアシャトルラン (シャトルラン) ○インベーダー突破ゲーム (反復横跳び) ○垂直跳び (立ち幅跳び) ○ホース投げ, ボール投げ (ソフトボール投げ)
6年	○上体起こし ○ストレッチP58 (長座体前屈) ○持久走 (P59) (シャトルラン)		○登り棒つかまり・登り下り, 雲てい (P56) (握力) ○コーンタッチ走P56, 10mショートダッシュ (いろいろな走り方で), ラダー【陸上】 ○ペアシャトルラン (シャトルラン) ○垂直跳び, 閉じ開きジャンプP56 (立ち幅跳び) ○インベーダー突破ゲーム (反復横跳び)

※②第2期 (器械体操・長縄・単縄に基づきやすい運動) ③第3期 (ボール運動に基づきやすい運動), 課外の取組は, 次年度体育部会を中心に作成する。

### (3) 研究の視点

#### ① コロナウイルス関連症に留意した授業づくり

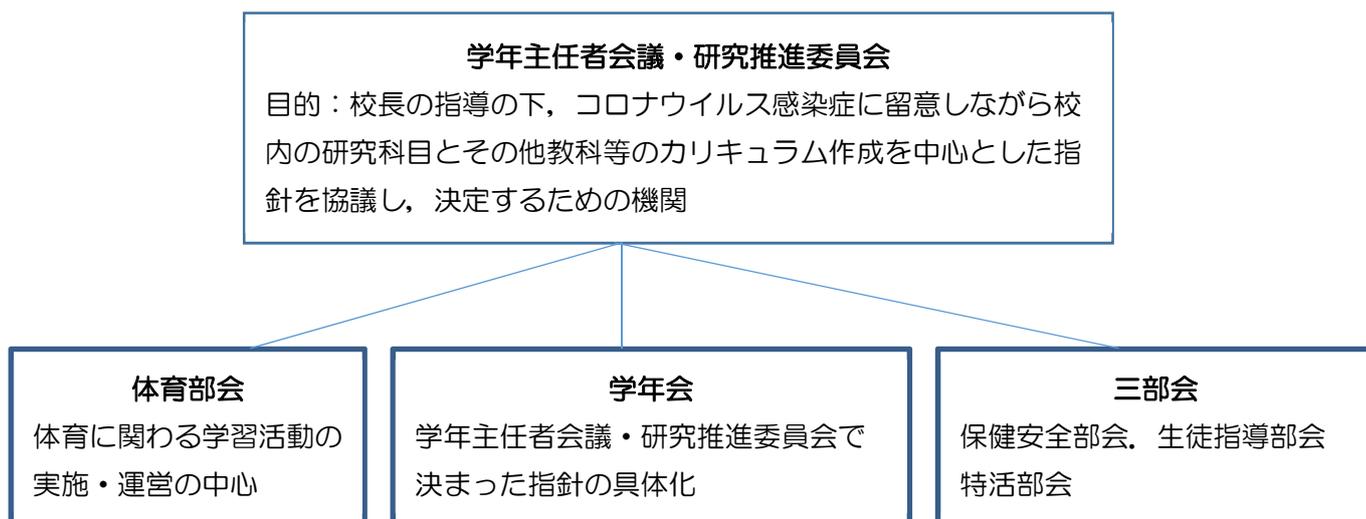
- ・ 有事版カリキュラムの作成
- ・ 感染予防に留意した授業づくり
- ・ 感染予防の意識を高める指導

#### ② 一人一人が喜びや楽しみを感じる学習の工夫

- ・ 指導計画の工夫
- ・ 場設の工夫
- ・ 自己の成長が見える評価の工夫
- ・ 校内環境の整備
- ・ 運動が苦手な児童が取り組みやすい工夫

### (4) 有事版（コロナウイルス感染症）研究部組織

※令和2年度は、感染状況を見ながら全教科等において有事版カリキュラムを組む必要があるため、学年主任者会を主軸として研究を進めます。



### (5) 研究計画

	研究領域	授業学年
令和2年度	コロナウイルス感染症に留意したカリキュラムの作成と保健指導の充実	全学年
令和3年度	ゴールボール型	2, 4, 6年
令和4年度	鉄棒・器械運動系	1, 3, 5年
令和5年度	陸上系	学年部から1名3学年